



# ローカルユーザおよびローカルグループを使用して認証と許可を行います

## ONTAP 9

NetApp  
April 24, 2024

# 目次

ローカルユーザおよびローカルグループを使用して認証と許可を行います	1
ONTAP でのローカルユーザとローカルグループの使用方法	1
ローカル権限とは	5
BUILTIN グループとローカル管理者アカウントの使用に関するガイドラインを次に示します	7
ローカルユーザパスワードの要件	7
事前定義の BUILTIN グループとそのデフォルトの権限	8
ローカルユーザとローカルグループ機能を有効または無効にします	9
ローカルユーザアカウントを管理します	12
ローカルグループを管理します	16
ローカル権限を管理します	23

# ローカルユーザおよびローカルグループを使用して認証と許可を行います

## ONTAP でのローカルユーザとローカルグループの使用方法

### ローカルユーザとローカルグループの概念

ローカルユーザとローカルグループを設定して使用するかどうかを決定する前に、ローカルユーザとローカルグループの定義を理解し、基本的ないくつかの情報を理解しておく必要があります。

#### • \* ローカルユーザー \*

一意の Security Identifier (SID ; セキュリティ識別子) を持つユーザアカウント。そのユーザアカウントを作成した Storage Virtual Machine (SVM) 上でのみ認識されます。ローカルユーザアカウントには、ユーザ名や SID などの一連の属性があります。ローカルユーザアカウントは、NTLM 認証を使用して CIFS サーバ上でローカルに認証します。

ユーザアカウントには次のような用途があります。

- ユーザに `_ ユーザ権限の管理 _` 権限を付与するために使用します。
- SVM が所有するファイルリソースおよびフォルダリソースに対する共有レベルとファイルレベルのアクセスを制御する。

#### • \* ローカルグループ \*

一意の SID を持つグループ。そのグループを作成した SVM 上でのみ認識が可能です。グループには一連のメンバーが含まれます。メンバーは、ローカルユーザ、ドメインユーザ、ドメイングループ、およびドメインマシンアカウントです。グループは、作成、変更、または削除できます。

グループにはいくつかの用途があります。

- メンバーに `_User Rights Management_Privileges` を付与するために使用します。
- SVM が所有するファイルリソースおよびフォルダリソースに対する共有レベルとファイルレベルのアクセスを制御する。

#### • \* ローカルドメイン \*

ローカルスコープを持つドメイン。SVM によりバインドされています。ローカルドメインの名前は CIFS サーバの名前です。ローカルユーザとローカルグループはローカルドメインに含まれています。

#### • \* Security Identifier (SID ; セキュリティ識別子) \*

SID は、Windows 形式のセキュリティプリンシパルを識別する可変長の数値です。たとえば、通常の SID の場合は、次のような形式になります。S-1-5-21-3139654847-1303905135-2517279418-123456。

#### • \* NTLM 認証 \*

CIFS サーバ上のユーザの認証で使用される、Microsoft Windows のセキュリティ方式。

- \* 複製されたクラスタデータベース（RDB） \*

クラスタ内の各ノードのインスタンスを持つ複製されたデータベース。ローカルユーザとローカルグループのオブジェクトは、RDB に格納されます。

## ローカルユーザおよびローカルグループを作成する理由

Storage Virtual Machine（SVM）でローカルユーザやローカルグループを作成する理由はいくつかあります。たとえば、ドメインコントローラ（DC）を使用できないときでも、ローカルユーザアカウントを使用して SMB サーバにアクセスできます。ローカルグループを使用して権限を割り当てる場合や、SMB サーバがワークグループにある場合もあります。

ローカルユーザアカウントを作成する理由には、次のようなものがあります。

- SMB サーバがワークグループにあり、ドメインユーザを使用できない。

ワークグループ設定にはローカルユーザが必要です。

- ドメインコントローラを使用できないときに、SMB サーバで認証してログインできるようにする。

ドメインコントローラがダウンしている場合や、ネットワークの問題によって SMB サーバからドメインコントローラに接続できない場合でも、ローカルユーザであれば、NTLM 認証を使用して SMB サーバに認証できます。

- ローカル・ユーザに \_ ユーザ権限の管理 \_ 権限を割り当てる

*User Rights Management* は、ユーザとグループに付与する SVM の権限を SMB サーバ管理者が制御できる機能です。ユーザに権限を割り当てるには、ユーザのアカウントにそれらの権限を割り当てるか、ユーザをそれらの権限が割り当てられたローカルグループのメンバーにします。

ローカルグループを作成する理由には、次のようなものがあります。

- SMB サーバがワークグループにあり、ドメイングループを使用できない。

ワークグループにローカルグループを設定する必要はありませんが、設定するとローカルワークグループユーザのアクセス権限を管理するのに役立ちます。

- 共有やファイルアクセスの制御にローカルグループを使用して、ファイルやフォルダのリソースへのアクセスを制御する。
- カスタマイズした \_ ユーザ権限の管理 \_ 権限を持つローカルグループを作成する。

権限があらかじめ定義された組み込みのユーザグループがいくつか用意されています。カスタマイズした一連の権限を割り当てるには、ローカルグループを作成し、そのグループに必要な権限を割り当てます。その後、ローカルグループにローカルユーザ、ドメインユーザ、およびドメイングループを追加します。

## 関連情報

[ローカルユーザ認証の仕組み](#)

### ローカルユーザ認証の仕組み

CIFS サーバのデータにアクセスする前に、ローカルユーザは認証されたセッションを作成する必要があります。

SMB はセッションベースであるため、ユーザの ID は、最初にセッションがセットアップされたときに一度だけ確認できます。CIFS サーバでは、ローカルユーザの認証時に NTLM ベースの認証が使用されます。NTLMv1 と NTLMv2 の両方がサポートされています。

ONTAP では、3 つの事例でローカル認証が使用されます。各事例は、ユーザ名のドメイン部分（DOMAIN\user 形式）が CIFS サーバのローカルドメイン名（CIFS サーバ名）と一致するかどうかによって異なります。

- ドメイン部分が一致します

データへのアクセスを要求するときにローカルユーザクレデンシャルを指定したユーザが、CIFS サーバでローカルに認証されます。

- ドメイン部分が一致しません

ONTAP は、CIFS サーバが属しているドメインのドメインコントローラで NTLM 認証を試行します。認証に成功した場合は、ログインが完了します。成功しなかった場合は、認証が失敗した理由によって次の動作が異なります。

たとえば、ユーザは Active Directory 内に存在するが、パスワードが無効であるか期限切れになっている場合は、ONTAP は CIFS サーバ上の対応するローカルユーザアカウントの使用を試みません。代わりに、認証は失敗します。その他にも、ONTAP が CIFS サーバ上の対応するローカルアカウントを使用している場合、そのアカウントが存在するときは、NetBIOS ドメイン名が一致していなくても認証に使用する場合があります。たとえば、一致するドメインアカウントが存在するが無効になっている場合、ONTAP は、CIFS サーバ上の対応するローカルアカウントを認証に使用します。

- ドメイン部分は指定されません

ONTAP はまず、ローカルユーザとしての認証を試行します。ローカルユーザとしての認証に失敗した場合は、ONTAP が、CIFS サーバが属しているドメインのドメインコントローラでユーザを認証します。

ローカルユーザまたはドメインユーザの認証が完了したら、ONTAP でローカルグループメンバーシップおよび権限が考慮される完全なユーザアクセストークンが構成されます。

ローカルユーザの NTLM 認証の詳細については、Microsoft Windows のマニュアルを参照してください。

#### 関連情報

#### [ローカルユーザ認証の有効化と無効化](#)

### ユーザアクセストークンの構成方法

ユーザが共有をマッピングすると、認証された SMB セッションが確立され、ユーザアクセストークンが構成されます。このトークンには、ユーザ、ユーザのグループメンバーシップ、累積権限、マッピングされた UNIX ユーザのそれぞれについて、情報が格納

されています。

この機能が無効になっていないかぎり、ローカルユーザとローカルグループの両方の情報がユーザアクセストークンに追加されます。アクセストークンの構成方法は、ローカルユーザのログインと Active Directory ドメインユーザのログインでは、方法が異なります。

- ローカルユーザログイン

ローカルユーザは複数のローカルグループのメンバーになることができますが、ローカルグループを他のローカルグループのメンバーにすることはできません。ローカルユーザアクセストークンは、その特定のローカルユーザが属するグループに割り当てられたすべての権限の組み合わせから構成されます。

- ドメイン・ユーザ・ログイン

ドメインユーザのログインでは、ONTAP は、ユーザの SID と、そのユーザが属するすべてのドメイングループの SID が格納されたユーザアクセストークンを取得します。ONTAP は、ユーザドメイングループのローカルメンバーシップ（存在する場合）が提供するアクセストークンとドメインユーザアクセストークンとの組み合わせを使用します。また、ドメインユーザに割り当てられた直接権限や、ドメイングループメンバーシップの直接権限も使用します。

ローカルユーザとドメインユーザの両方のログインで、プライマリグループ RID もユーザアクセストークン用に設定されています。デフォルトのRIDはです Domain Users（RID 513）。デフォルトは変更できません。

Windows から UNIX へのネームマッピングと、UNIX から Windows へのネームマッピングのプロセスでは、ローカルアカウントとドメインアカウントのどちらについても同じルールが適用されます。



UNIX ユーザがローカルアカウントに自動的にマッピングされることはありません。このマッピングが必要な場合は、既存のネームマッピングコマンドを使用して明示的なマッピングルールを指定する必要があります。

ローカルグループを含む **SVM** での **SnapMirror** の使用に関するガイドラインを次に示します

ローカルグループを含む SVM によって所有されているボリュームで SnapMirror を設定する際は、一定のガイドラインに注意する必要があります。

SnapMirror によって別の SVM にレプリケートされるファイル、ディレクトリ、または共有に適用する ACE ではローカルグループを使用できません。SnapMirror 機能を使用して別の SVM 上のボリュームに対する DR ミラーを作成する場合に、そのボリュームにローカルグループの ACE があるときは、ミラーには ACE は適用されません。データが別の SVM にレプリケートされる場合、実質的に、そのデータは別のローカルドメインに格納されることになります。ローカルユーザとローカルグループに付与されるアクセス権は、そのオブジェクトが最初に作成された SVM のスコープ内でのみ有効です。

## **CIFS** サーバを削除したときのローカルユーザとローカルグループに対する影響

CIFS サーバを作成すると、デフォルトの一連のローカルユーザとローカルグループが作成され、CIFS サーバをホストする Storage Virtual Machine（SVM）に関連付けられます。SVM 管理者は、ローカルユーザやローカルグループをいつでも作成することができます。CIFS サーバを削除するときは、それを実行した場合のローカルユーザとローカ

ルグループに対する影響について理解しておく必要があります。

ローカルユーザとローカルグループは SVM に関連付けられます。そのため、セキュリティの観点から、CIFS サーバを削除してもそれらが削除されることはありません。CIFS サーバを削除してもローカルユーザとローカルグループは削除されませんが、表示されなくなります。SVM で CIFS サーバを再作成するまで、表示したり管理したりすることはできません。



CIFS サーバの管理ステータスは、ローカルユーザやローカルグループが表示されるかどうかには影響しません。

## Microsoft 管理コンソールでのローカルユーザとローカルグループの情報の表示

Microsoft 管理コンソールを使用して、ローカルユーザとローカルグループのそれぞれの情報を表示できます。ONTAP の今回のリリースでは、Microsoft 管理コンソールで、ローカルユーザとローカルグループに対する上記以外の管理タスクを実行することはできません。

## リポートに関するガイドライン

ローカルユーザとグループを使用してファイルアクセスまたはユーザ権限を管理している場合に、ローカルユーザとグループをサポートしない ONTAP リリースにクラスタをリポートするときは、一定の考慮事項に注意する必要があります。

- セキュリティ上の理由から、ONTAP をローカルユーザとグループの機能をサポートしないバージョンにリポートしても、設定されているローカルユーザ、グループ、および権限に関する情報は削除されません。
- ONTAP の以前のメジャーバージョンにリポートする際、ONTAP では認証とクレデンシャルの作成時にローカルユーザとローカルグループは使用されません。
- ローカルユーザとローカルグループは、ファイルおよびフォルダの ACL からは削除されません。
- ローカルユーザまたはローカルグループに付与された権限に基づいて許可されるアクセスに依存するファイルアクセス要求は拒否されます。

アクセスを許可するには、ローカルユーザとローカルグループオブジェクトではなく、ドメインオブジェクトに基づいてアクセスを許可するようにファイル権限を再設定する必要があります。

## ローカル権限とは

### サポートされる権限のリスト

ONTAP には、一連のサポートされる権限があらかじめ定義されています特定の事前定義されたローカルグループには、これらの権限の一部がデフォルトで追加されています。事前定義グループの権限は追加または削除できます。また、新しいローカルユーザまたはローカルグループを作成して、そのグループや、既存のドメインユーザおよびグループに権限を追加することもできます。

次の表に、Storage Virtual Machine (SVM) でサポートされる権限の一覧と、その権限が割り当てられてい

る BUILTIN グループを示します。

権限の名前	デフォルトのセキュリティ設定	説明
SeTcbPrivilege	なし	オペレーティングシステムの一部として機能します
SeBackupPrivilege	BUILTIN\Administrators、 BUILTIN\Backup Operators	ACL を無視してファイルとディレクトリをバックアップします
SeRestorePrivilege	BUILTIN\Administrators、 BUILTIN\Backup Operators	ファイルおよびディレクトリをリストアし、ACL を上書きすべての有効なユーザまたはグループの SID をファイル所有者として設定します
SeTakeOwnershipPrivilege	BUILTIN\Administrators	ファイルまたはその他のオブジェクトの所有権を取得します
SeSecurityPrivilege	BUILTIN\Administrators	監査の管理  これには、セキュリティログの表示、ダンプ、およびクリアが含まれます。
SeChangeNotifyPrivilege	BUILTIN\Administrators、 BUILTIN\Backup Operators、 BUILTIN\Power Users、 BUILTIN\Users、Everyone	トラバースチェックのバイパス  この権限を持つユーザには、フォルダ、シンボリックリンク、ジャンクションをトラバースするためのトラバース (x) 権限は必要ありません。

#### 関連情報

- [ローカル権限を割り当てます](#)
- [トラバースチェックのバイパスの設定](#)

### 権限を割り当てます

ローカルユーザまたはドメインユーザに権限を直接割り当てることができます。また、ユーザに付与する権限と一致する権限が割り当てられているローカルグループにユーザを割り当てすることもできます。

- 作成したグループに一連の権限を割り当てることができます。

その後、ユーザに付与する権限が割り当てられているグループにユーザを追加します。

- また、ローカルユーザおよびドメインユーザを、デフォルトの権限がユーザに付与する権限と一致してい



る事前定義グループに割り当てすることもできます。

#### 関連情報

- [ローカルまたはドメインのユーザまたはグループに対する権限の追加](#)
- [ローカルまたはドメインのユーザまたはグループの権限を削除しています](#)
- [ローカルまたはドメインのユーザまたはグループの権限をリセットしています](#)
- [トラバースチェックのバイパスの設定](#)

## BUILTIN グループとローカル管理者アカウントの使用に関するガイドラインを次に示します

BUILTIN グループとローカル管理者アカウントを使用する場合は、一定のガイドラインに注意する必要があります。たとえば、ローカル管理者アカウントは、名前の変更は可能ですが、削除はできません。

- Administrator アカウントは、名前の変更は可能ですが、削除はできません。
- Administrator アカウントは BUILTIN\Administrators グループから削除できません。
- BUILTIN グループは、名前の変更は可能ですが、削除はできません。

BUILTIN グループの名前を変更したあと、よく知られた名前を使用して別のローカルオブジェクトを作成できますが、そのオブジェクトには新しい RID が割り当てられます。

- ローカルゲストアカウントがありません。

#### 関連情報

[事前定義の BUILTIN グループとそのデフォルトの権限](#)

## ローカルユーザパスワードの要件

デフォルトでは、ローカルユーザのパスワードは複雑さの要件を満たしている必要があります。パスワードの複雑さの要件は、Microsoft Windows\_Local セキュリティポリシー \_ で定義されている要件に似ています。

パスワードは次の基準を満たしている必要があります。

- 6 文字以上にする必要があります
- ユーザアカウント名を含めることはできません
- 次の 4 種類のうちの 3 種類以上の文字を含める必要があります。
  - 大文字のアルファベット (A~Z)
  - 小文字のアルファベット (a~z)
  - 数字 (0~9)
  - 特殊文字:

~@# \$% { キャレット } &\* \_ +=\| ( ) [];"<>、. ? /

## 関連情報

[ローカル SMB ユーザに対するパスワードの複雑さの要件の有効化と無効化](#)

[CIFS サーバのセキュリティ設定に関する情報を表示する](#)

[ローカルユーザのアカウントパスワードを変更しています](#)

## 事前定義の **BUILTIN** グループとそのデフォルトの権限

ローカルユーザまたはドメインユーザのメンバーシップを、ONTAP の事前定義された一連の **BUILTIN** グループに割り当てることができます。事前定義グループには、事前定義された権限が割り当てられ

次の表に、事前定義グループを示します。

事前定義の <b>BUILTIN</b> グループ	デフォルトの権限
<b>BUILTIN\Administrators</b> 544番  最初に作成されたとき、ローカル Administrator RIDが500のアカウントは、自動的にこのグループのメンバーになります。Storage Virtual Machine (SVM) がドメインに参加している場合は、domain\Domain Admins グループがグループに追加されます。SVMがドメインから削除された場合は domain\Domain Admins グループがグループから削除されます。	<ul style="list-style-type: none"><li>• SeBackupPrivilege</li><li>• SeRestorePrivilege</li><li>• SeSecurityPrivilege</li><li>• SeTakeOwnershipPrivilege</li><li>• SeChangeNotifyPrivilege</li></ul>
<b>BUILTIN\Power Users</b> 547番地  このグループには、最初に作成された時点ではメンバーはありません。このグループのメンバーには、次のような特徴があります。 <ul style="list-style-type: none"><li>• ローカルユーザとローカルグループを作成および管理できます。</li><li>• 自分自身や他のオブジェクトをに追加することはできません <b>BUILTIN\Administrators</b> グループ：</li></ul>	SeChangeNotifyPrivilege
<b>BUILTIN\Backup Operators</b> 住所は551  このグループには、最初に作成された時点ではメンバーはありません。このグループのメンバーは、バックアップ目的で開いたファイルやフォルダの読み取りおよび書き込み権限を上書きできます。	<ul style="list-style-type: none"><li>• SeBackupPrivilege</li><li>• SeRestorePrivilege</li><li>• SeChangeNotifyPrivilege</li></ul>

事前定義の <b>BUILTIN</b> グループ	デフォルトの権限
BUILTIN\UsersRID 545  最初に作成された時点では、このグループには（暗黙の以外に）メンバーはありません Authenticated Users 特殊グループ）。SVMがドメインに参加すると、が表示されます domain\Domain Users グループがこのグループに追加されます。SVMがドメインから削除された場合は domain\Domain Users グループがこのグループから削除されます。	SeChangeNotifyPrivilege
EveryoneSID S-1-1-0  このグループには、ゲストを含むすべてのユーザが含まれます（ただし匿名ユーザは含まれません）。このグループは、暗黙のメンバーシップを持つ暗黙のグループです。	SeChangeNotifyPrivilege

#### 関連情報

[BUILTIN グループとローカル管理者アカウントの使用に関するガイドラインを次に示します](#)

[サポートされる権限のリスト](#)

[トラバースチェックのバイパスの設定](#)

## ローカルユーザとローカルグループ機能を有効または無効にします

ローカルユーザとローカルグループ機能の概要を有効または無効にします

NTFS セキュリティ形式データのアクセス制御にローカルユーザとローカルグループを使用する前に、ローカルユーザとローカルグループ機能を有効にする必要があります。また、SMB 認証にローカルユーザを使用する場合は、ローカルユーザ認証機能を有効にする必要があります。

ローカルユーザとローカルグループ機能とローカルユーザ認証はデフォルトで有効になっています。有効になっていない場合は、ローカルユーザとローカルグループを設定して使用する前に有効にする必要があります。ローカルユーザとローカルグループ機能はいつでも無効にすることができます。

ローカルユーザとローカルグループ機能の明示的な無効化に加えて、ONTAP では、クラスタ内のノードがローカルユーザとローカルグループ機能をサポートしていないリリースの ONTAP にリバートされた場合にその機能が無効になります。クラスタ内のすべてのノードでその機能をサポートするバージョンの ONTAP が実行されるまで、ローカルユーザとローカルグループ機能は有効になりません。

#### 関連情報

[ローカルユーザアカウントを変更します](#)

## ローカルグループを変更します

## ローカルまたはドメインのユーザまたはグループに権限を追加します

## ローカルユーザとローカルグループを有効または無効にします

Storage Virtual Machine（SVM）での SMB アクセスに使用するローカルユーザとローカルグループを有効または無効にすることができます。ローカルユーザとローカルグループ機能はデフォルトで有効になっています。

### このタスクについて

SMB 共有および NTFS ファイル権限の設定時にローカルユーザとローカルグループを使用でき、必要に応じて、SMB 接続の作成時の認証のためにローカルユーザを使用できます。認証にローカルユーザを使用するには、ローカルユーザとローカルグループ認証オプションも有効にする必要があります。

### 手順

1. 権限レベルを advanced に設定します。 `set -privilege advanced`
2. 次のいずれかを実行します。

ローカルユーザとローカルグループの設定	入力するコマンド
有効	<code>vserver cifs options modify -vserver vserver_name -is-local-users-and-groups-enabled true</code>
無効	<code>vserver cifs options modify -vserver vserver_name -is-local-users-and-groups-enabled false</code>

3. admin 権限レベルに戻ります。 `set -privilege admin`

### 例

次の例は、SVM vs1 でローカルユーザとローカルグループ機能を有効にします。

```
cluster1::> set -privilege advanced
Warning: These advanced commands are potentially dangerous; use them
only when directed to do so by technical support personnel.
Do you wish to continue? (y or n): y

cluster1::*> vserver cifs options modify -vserver vs1 -is-local-users-and
-groups-enabled true

cluster1::*> set -privilege admin
```

### 関連情報

## ローカルユーザ認証を有効または無効にします

## ローカルユーザアカウントを有効または無効にします

### ローカルユーザ認証を有効または無効にします

Storage Virtual Machine（SVM）での SMB アクセスに関するローカルユーザ認証を有効または無効にすることができます。デフォルトでは、ローカルユーザ認証は許可されます。これは、SVM がドメインコントローラにアクセスできない場合、またはドメインレベルのアクセス制御を使用しない場合に役立ちます。

作業を開始する前に

CIFS サーバでローカルユーザとローカルグループ機能を有効にする必要があります。

このタスクについて

ローカルユーザ認証はいつでも有効または無効にできます。SMB 接続の作成時の認証のためにローカルユーザを使用する場合は、CIFS サーバのローカルユーザとローカルグループオプションも有効にする必要があります。

手順

1. 権限レベルを `advanced` に設定します。 `set -privilege advanced`
2. 次のいずれかを実行します。

ローカル認証の設定	入力するコマンド
有効	<code>vserver cifs options modify -vserver vserver_name -is-local-auth-enabled true</code>
無効	<code>vserver cifs options modify -vserver vserver_name -is-local-auth-enabled false</code>

3. `admin` 権限レベルに戻ります。 `set -privilege admin`

例

次の例は、SVM `vs1` でローカルユーザ認証を有効にします。

```
cluster1::>set -privilege advanced
Warning: These advanced commands are potentially dangerous; use them
only when directed to do so by technical support personnel.
Do you wish to continue? (y or n): y

cluster1::*> vserver cifs options modify -vserver vs1 -is-local-auth
-enabled true

cluster1::*> set -privilege admin
```

## ローカルユーザアカウントを管理します

### ローカルユーザアカウントを変更します

既存のユーザのフルネームや概要を変更したり、ユーザアカウントを有効または無効にしたりする場合は、ローカルユーザアカウントを変更します。また、ユーザ名が侵害を受けたり、管理上の目的で名前の変更が必要になった場合にも、ローカルユーザアカウントの名前を変更できます。

状況	入力するコマンド
ローカルユーザのフルネームの変更	<code>vserver cifs users-and-groups local-user modify -vserver vserver_name -user -name user_name -full-name text</code> フルネームにスペースが含まれている場合は、二重引用符で囲む必要があります。
ローカルユーザの概要を変更します	<code>vserver cifs users-and-groups local-user modify -vserver vserver_name -user -name user_name -description text</code> 概要にスペースが含まれている場合は、二重引用符で囲む必要があります。
ローカルユーザアカウントを有効または無効にします	<code>`vserver cifs users-and-groups local-user modify -vserver vserver_name -user-name user_name -is -account-disabled {true</code>
<code>false}`</code>	ローカルユーザアカウントの名前を変更します

### 例

次の例は、Storage Virtual Machine（SVM、旧 Vserver）vs1 上のローカルユーザ「CIFS\_SERVER\sue」の名前を「CIFS\_SERVER\sue\_new」に変更します。

```
cluster1::> vserver cifs users-and-groups local-user rename -user-name
CIFS_SERVER\sue -new-user-name CIFS_SERVER\sue_new -vserver vs1
```

### ローカルユーザアカウントを有効または無効にします

ユーザが Storage Virtual Machine（SVM）に格納されたデータに SMB 接続経由でアクセスできるようにするには、ローカルユーザアカウントを有効にします。また、そのユ

ーザが SVM のデータに SMB 経由でアクセスできないようにするには、ローカルユーザアカウントを無効にします。

このタスクについて

ユーザアカウントを変更してローカルユーザを有効にします。

ステップ

1. 適切な操作を実行します。

状況	入力するコマンド
ユーザアカウントを有効にします	<pre>vserver cifs users-and-groups local-user modify -vserver vserver_name -user-name user_name -is-account -disabled false</pre>
ユーザアカウントを無効にします	<pre>vserver cifs users-and-groups local-user modify -vserver vserver_name -user-name user_name -is-account -disabled true</pre>

## ローカルユーザのアカウントパスワードを変更する

ローカルユーザのアカウントパスワードを変更できます。これは、ユーザのパスワードが侵害された場合やユーザがパスワードを忘れた場合に役立ちます。

ステップ

1. 適切な操作を実行してパスワードを変更します。 `vserver cifs users-and-groups local-user set-password -vserver vserver_name -user-name user_name`

例

次の例は、Storage Virtual Machine（SVM、旧 Vserver）vs1 に関連付けられたローカルユーザ「CIFS\_SERVER\sue」のパスワードを設定します。

```
cluster1::> vserver cifs users-and-groups local-user set-password -user -name CIFS_SERVER\sue -vserver vs1
```

Enter the new password:

Confirm the new password:

関連情報

[ローカル SMB ユーザに対するパスワードの複雑さの要件の有効化と無効化](#)

[CIFS サーバのセキュリティ設定に関する情報を表示する](#)

## ローカルユーザに関する情報を表示します

すべてのローカルユーザのリストを要約形式で表示できます。特定のユーザに対して設定されているアカウント設定を確認するには、そのユーザの詳細なアカウント情報、および複数のユーザのアカウント情報を表示します。この情報は、ユーザの設定を変更する必要があるかどうかを判断する場合に加えて、認証やファイルアクセスに関する問題のトラブルシューティングを行う場合にも役立ちます。

このタスクについて

ユーザのパスワードに関する情報は表示されません。

### ステップ

1. 次のいずれかを実行します。

状況	入力するコマンド
Storage Virtual Machine （SVM）のすべてのユーザに関する情報を表示する	<code>vserver cifs users-and-groups local-user show -vserver vserver_name</code>
特定のユーザの詳細なアカウント情報を表示する	<code>vserver cifs users-and-groups local-user show -instance -vserver vserver_name -user-name user_name</code>

コマンドの実行時に選択できるオプションのパラメータがほかにもあります。詳細については、のマニュアルページを参照してください。

### 例

次の例は、SVM vs1 のすべてのローカルユーザに関する情報を表示します。

```
cluster1::> vserver cifs users-and-groups local-user show -vserver vs1
Vserver  User Name                               Full Name      Description
-----  -
vs1      CIFS_SERVER\Administrator    James Smith    Built-in administrator
account
vs1      CIFS_SERVER\sue             Sue    Jones
```

## ローカルユーザのグループメンバーシップに関する情報を表示します

ローカルユーザが属しているローカルグループに関する情報を表示できます。この情報を使用して、ユーザに付与する必要があるファイルやフォルダへのアクセスを確認できます。この情報は、ユーザに付与する必要があるファイルやフォルダへのアクセス権や、ファイルアクセスに関する問題のトラブルシューティングを行うタイミングを判断するのに役立ちます。

このタスクについて



コマンドをカスタマイズして、必要な情報のみを表示することができます。

## ステップ

1. 次のいずれかを実行します。

状況	入力するコマンド
指定したローカルユーザのローカルユーザメンバーシップに関する情報を表示します	<code>vserver cifs users-and-groups local-user show-membership -user-name user_name</code>
このローカルユーザが属しているローカルグループのローカルユーザメンバーシップに関する情報を表示します	<code>vserver cifs users-and-groups local-user show-membership -membership group_name</code>
指定した Storage Virtual Machine (SVM) に関連付けられているローカルユーザのユーザメンバーシップに関する情報を表示する	<code>vserver cifs users-and-groups local-user show-membership -vserver vserver_name</code>
指定した SVM 上のすべてのローカルユーザに関する詳細情報を表示する	<code>vserver cifs users-and-groups local-user show-membership -instance -vserver vserver_name</code>

## 例

次の例は、SVM vs1 上のすべてのローカルユーザのメンバーシップ情報を表示します。ユーザ「CIFS\_SERVER\Administrator」は「BUILTIN\Administrators」グループのメンバーで、「CIFS\_SERVER\sue」は「CIFS\_SERVER\g1」グループのメンバーです。

```
cluster1::> vserver cifs users-and-groups local-user show-membership
-vserver vs1
Vserver      User Name                               Membership
-----
vs1          CIFS_SERVER\Administrator              BUILTIN\Administrators
              CIFS_SERVER\sue                      CIFS_SERVER\g1
```

## ローカルユーザアカウントを削除します

CIFS サーバに対するローカル SMB 認証や、SVM に格納されたデータへのアクセス権の定義に使用するローカルユーザアカウントが不要になった場合は、Storage Virtual Machine (SVM) から削除することができます。

### このタスクについて

ローカルユーザを削除する場合は、次の点に注意してください。

- ファイルシステムは変更されません。

このユーザを参照するファイルやディレクトリに対する Windows セキュリティ記述子は調整されません。

- ローカルユーザへのすべての参照がメンバーシップおよび権限のデータベースから削除されます。
- Administrator などの標準的な既知のユーザは削除できません。

#### 手順

1. 削除するローカルユーザアカウントの名前を確認します。 `vserver cifs users-and-groups local-user show -vserver vserver_name`
2. ローカルユーザを削除します。 `vserver cifs users-and-groups local-user delete -vserver vserver_name -user-name username_name`
3. ユーザアカウントが削除されたことを確認します。 `vserver cifs users-and-groups local-user show -vserver vserver_name`

#### 例

次の例は、SVM vs1 に関連付けられたローカルユーザ「CIFS\_SERVER\sue」を削除します。

```
cluster1::> vserver cifs users-and-groups local-user show -vserver vs1
Vserver  User Name                Full Name                Description
-----  -
vs1      CIFS_SERVER\Administrator  James Smith             Built-in administrator
account
vs1      CIFS_SERVER\sue           Sue    Jones
```

```
cluster1::> vserver cifs users-and-groups local-user delete -vserver vs1
-user-name CIFS_SERVER\sue
```

```
cluster1::> vserver cifs users-and-groups local-user show -vserver vs1
Vserver  User Name                Full Name                Description
-----  -
vs1      CIFS_SERVER\Administrator  James Smith             Built-in administrator
account
```

## ローカルグループを管理します

### ローカルグループを変更します

既存のローカルグループの概要を変更するには、既存のローカルグループの名前を変更するか、グループの名前を変更します。

状況	使用するコマンド
ローカルグループの概要を変更します	<code>vserver cifs users-and-groups local-group modify -vserver vserver_name -group-name group_name -description text</code> 概要 にスペースが含まれている場合は、二重引用符で囲む必要があります。
ローカルグループの名前を変更します	<code>vserver cifs users-and-groups local-group rename -vserver vserver_name -group-name group_name -new-group-name new_group_name</code>

#### 例

次の例では 'ローカル・グループの名前を 'CIFS\_server\engineering' から 'CIFS\_server\engineering\_new' に変更します

```
cluster1::> vserver cifs users-and-groups local-group rename -vserver vs1
-group-name CIFS_SERVER\engineering -new-group-name
CIFS_SERVER\engineering_new
```

次の例では 'ローカル・グループの概要を変更します

```
cluster1::> vserver cifs users-and-groups local-group modify -vserver vs1
-group-name CIFS_SERVER\engineering -description "New Description"
```

#### ローカルグループに関する情報を表示します

クラスタまたは指定した Storage Virtual Machine （SVM）で設定されているすべてのローカルグループの一覧を表示できます。この情報は、SVM に格納されているデータに対するファイルアクセスに関する問題や、SVM のユーザ権限に関する問題のトラブルシューティングに役立ちます。

#### ステップ

1. 次のいずれかを実行します。

必要な情報	入力するコマンド
クラスタのすべてのローカルグループ	<code>vserver cifs users-and-groups local-group show</code>
SVM のすべてのローカルグループ	<code>vserver cifs users-and-groups local-group show -vserver vserver_name</code>

このコマンドを実行するときに選択できるオプションのパラメータがほかにもあります。詳細については、のマニュアルページを参照してください。

#### 例

次の例は、SVM vs1 のすべてのローカルグループに関する情報を表示します。

```
cluster1::> vserver cifs users-and-groups local-group show -vserver vs1
```

Vserver	Group Name	Description
vs1	BUILTIN\Administrators	Built-in Administrators group
vs1	BUILTIN\Backup Operators	Backup Operators group
vs1	BUILTIN\Power Users	Restricted administrative privileges
vs1	BUILTIN\Users	All users
vs1	CIFS_SERVER\engineering	
vs1	CIFS_SERVER\sales	

## ローカルグループメンバーシップを管理します

ローカルグループメンバーシップの管理では、ローカルユーザやドメインユーザの追加と削除、ドメイングループの追加と削除ができます。この機能は、特定のグループに対するアクセス制御に基づいてデータへのアクセスを制御したり、グループに関連した権限をユーザに付与したりする上で役に立ちます。

#### このタスクについて

ローカルグループへのメンバーの追加に関するガイドラインを次に示します。

- 特殊なグループ `_Everyone` にユーザを追加することはできません。
- ローカルグループにユーザを追加する前に、あらかじめそのグループが存在している必要があります。
- ローカルグループにユーザを追加する前に、あらかじめそのユーザが存在している必要があります。
- 別のローカルグループにローカルグループを追加することはできません。
- ローカルグループにドメインユーザまたはグループを追加するには、Data ONTAP で名前を SID に解決できる必要があります。

ローカルグループからのメンバーの削除に関するガイドラインを次に示します。

- 特殊なグループ `_Everyone` からメンバーを削除することはできません。
- メンバーを削除するグループが存在している必要があります。
- ONTAP は、グループから削除するメンバーの名前を、対応する SID に対して解決できる必要があります。

#### ステップ

1. グループのメンバーを追加または削除します。

状況	使用するコマンド
グループにメンバーを追加します	<pre>vserver cifs users-and-groups local-group add-members -vserver _vserver_name_ -group-name _group_name_ -member-names name[,...] </pre> カンマ区切りのリストに記載されたローカルユーザ、ドメインユーザ、ドメイングループを指定し、特定のローカルグループに追加します。
グループからメンバーを削除します	<pre>vserver cifs users-and-groups local-group remove-members -vserver _vserver_name_ -group-name _group_name_ -member-names name[,...] </pre> カンマ区切りのリストに記載されたローカルユーザ、ドメインユーザ、ドメイングループを指定し、特定のローカルグループから削除します。

次の例は、SVM vs1 上のローカルグループ「SMB\_server\sue」とドメイングループ「AD\_DOM\dom\_eng」をローカルグループ「SMB\_server\engineering」に追加します。

```
cluster1::> vserver cifs users-and-groups local-group add-members
-vserver vs1 -group-name SMB_SERVER\engineering -member-names
SMB_SERVER\sue,AD_DOMAIN\dom_eng
```

次の例は、SVM vs1 上のローカルグループ「SMB\_server\sue」と「SMB\_server\james」からローカルユーザ「SMB\_server\engineering」を削除します。

```
cluster1::> vserver cifs users-and-groups local-group remove-members
-vserver vs1 -group-name SMB_SERVER\engineering -member-names
SMB_SERVER\sue,SMB_SERVER\james
```

## 関連情報

[ローカルグループのメンバーに関する情報を表示する](#)

## ローカルグループのメンバーに関する情報を表示します

クラスタまたは指定した Storage Virtual Machine（SVM）で設定されているローカルグループのすべてのメンバーの一覧を表示できます。この情報は、ファイルアクセスに関する問題やユーザ権限に関する問題のトラブルシューティングに役立ちます。

## ステップ

1. 次のいずれかを実行します。

表示する情報	入力するコマンド
クラスタのすべてのローカルグループのメンバー	<code>vserver cifs users-and-groups local-group show-members</code>
SVM のすべてのローカルグループのメンバー	<code>vserver cifs users-and-groups local-group show-members -vserver <i>vserver_name</i></code>

## 例

次の例は、SVM vs1 のすべてのローカルグループのメンバーに関する情報を表示します。

```
cluster1::> vserver cifs users-and-groups local-group show-members
-vserver vs1
```

Vserver	Group Name	Members
vs1	BUILTIN\Administrators	CIFS_SERVER\Administrator AD_DOMAIN\Domain Admins AD_DOMAIN\dom_grpl
	BUILTIN\Users	AD_DOMAIN\Domain Users AD_DOMAIN\dom_usr1
	CIFS_SERVER\engineering	CIFS_SERVER\james

## ローカルグループを削除します

Storage Virtual Machine（SVM）に関連付けられたデータへのアクセス権を決定するのに必要なくなった場合や、SVM ユーザ権限をグループメンバーに割り当てて必要なくなった場合は、SVM からローカルグループを削除できます。

このタスクについて

ローカルグループを削除する場合は、次の点に注意してください。

- ファイルシステムは変更されません。

このグループを参照するファイルやディレクトリに対する Windows セキュリティ記述子は調整されません。

- グループが存在しない場合は、エラーが返されます。
- `special_every_group` は削除できません。
- `BUILTIN\Administrators` `BUILTIN\Users` などの組み込みのグループは削除できません。

## 手順

1. SVM上のローカルグループのリストを表示して、削除するローカルグループの名前を確認します。

```
vserver cifs users-and-groups local-group show -vserver vserver_name
```

2. ローカルグループを削除します。 `vserver cifs users-and-groups local-group delete -vserver vserver_name -group-name group_name`
3. グループが削除されたことを確認します。 `vserver cifs users-and-groups local-user show -vserver vserver_name`

例

次の例は、SVM vs1 に関連付けられたローカルグループ「CIFS\_SERVER\sales」を削除します。

```
cluster1::> vserver cifs users-and-groups local-group show -vserver vs1
```

Vserver	Group Name	Description
vs1	BUILTIN\Administrators	Built-in Administrators group
vs1	BUILTIN\Backup Operators	Backup Operators group
vs1	BUILTIN\Power Users	Restricted administrative
	privileges	
vs1	BUILTIN\Users	All users
vs1	CIFS_SERVER\engineering	
vs1	CIFS_SERVER\sales	

```
cluster1::> vserver cifs users-and-groups local-group delete -vserver vs1
-group-name CIFS_SERVER\sales
```

```
cluster1::> vserver cifs users-and-groups local-group show -vserver vs1
```

Vserver	Group Name	Description
vs1	BUILTIN\Administrators	Built-in Administrators group
vs1	BUILTIN\Backup Operators	Backup Operators group
vs1	BUILTIN\Power Users	Restricted administrative
	privileges	
vs1	BUILTIN\Users	All users
vs1	CIFS_SERVER\engineering	

## ローカルデータベースのドメインユーザおよびグループ名を更新します

CIFS サーバのローカルグループにドメインユーザやドメイングループを追加することができます。これらのドメインオブジェクトは、クラスタのローカルデータベースに登録されます。ドメインオブジェクトの名前を変更した場合は、ローカルデータベースを手動で更新する必要があります。

このタスクについて

ドメイン名を更新する Storage Virtual Machine（SVM）の名前を指定する必要があります。

手順

1. 権限レベルを advanced に設定します。 `set -privilege advanced`

## 2. 適切な操作を実行します。

ドメインユーザおよびドメイングループの更新後の処理	使用するコマンド
ドメインユーザとドメイングループについて、正常に更新されたものと更新できなかったものを表示する	<code>vserver cifs users-and-groups update-names -vserver vserver_name</code>
ドメインユーザとドメイングループについて、正常に更新されたものを表示する	<code>vserver cifs users-and-groups update-names -vserver vserver_name -display-failed-only false</code>
更新できなかったドメインユーザとドメイングループのみを表示します	<code>vserver cifs users-and-groups update-names -vserver vserver_name -display-failed-only true</code>
更新に関するすべてのステータス情報を非表示にします	<code>vserver cifs users-and-groups update-names -vserver vserver_name -suppress-all-output true</code>

## 3. admin 権限レベルに戻ります。 `set -privilege admin`

### 例

次の例は、Storage Virtual Machine（SVM、旧 Vserver）vs1 に関連付けられているドメインユーザおよびグループの名前を更新します。前回の更新には依存する一連の名前を更新する必要があります。



```

cluster1::> set -privilege advanced
Warning: These advanced commands are potentially dangerous; use them
only when directed to do so by technical support personnel.
Do you wish to continue? (y or n): y

cluster1::*> vsserver cifs users-and-groups update-names -vsserver vs1

Vserver:          vs1
SID:              S-1-5-21-123456789-234565432-987654321-12345
Domain:           EXAMPLE1
Out-of-date Name: dom_user1
Updated Name:     dom_user2
Status:           Successfully updated

Vserver:          vs1
SID:              S-1-5-21-123456789-234565432-987654322-23456
Domain:           EXAMPLE2
Out-of-date Name: dom_user1
Updated Name:     dom_user2
Status:           Successfully updated

Vserver:          vs1
SID:              S-1-5-21-123456789-234565432-987654321-123456
Domain:           EXAMPLE1
Out-of-date Name: dom_user3
Updated Name:     dom_user4
Status:           Successfully updated; also updated SID "S-1-5-21-
123456789-234565432-987654321-123457"
                  to name "dom_user5"; also updated SID "S-1-5-21-
123456789-234565432-987654321-123458"
                  to name "dom_user6"; also updated SID "S-1-5-21-
123456789-234565432-987654321-123459"
                  to name "dom_user7"; also updated SID "S-1-5-21-
123456789-234565432-987654321-123460"
                  to name "dom_user8"

The command completed successfully. 7 Active Directory objects have been
updated.

cluster1::*> set -privilege admin

```

## ローカル権限を管理します

ローカルまたはドメインのユーザまたはグループに権限を追加します

ローカルまたはドメインのユーザやグループのユーザ権限を管理できます。追加した権限は、これらのオブジェクトに割り当てられていたデフォルトの権限よりも優先されます。これにより、ユーザまたはグループに付与する権限をカスタマイズして、セキュリティを強化できます。

作業を開始する前に

権限を追加する対象となるローカルまたはドメインのユーザまたはグループがすでに存在している必要があります。

このタスクについて

オブジェクトに権限を追加すると、そのユーザまたはグループのデフォルトの権限は無効になります。権限を追加しても、以前に追加した権限は削除されません。

ローカルまたはドメインのユーザまたはグループに権限を追加する場合は、次の点に注意する必要があります。

- 権限は 1 つ以上追加できます。
- ドメインユーザまたはグループへの権限の追加時、ONTAP では、ドメインコントローラに接続してそのドメインユーザまたはグループを検証することがあります。

ONTAP からドメインコントローラに接続できない場合、コマンドが失敗することがあります。

手順

1. ローカルまたはドメインのユーザまたはグループに1つ以上の権限を追加します。 `vserver cifs users-and-groups privilege add-privilege -vserver _vserver_name_ -user-or-group-name name -privileges _privilege_[,...]`
2. 必要な権限がオブジェクトに適用されていることを確認します。 `vserver cifs users-and-groups privilege show -vserver vserver_name -user-or-group-name name`

例

次の例は、Storage Virtual Machine（SVM、旧 Vserver）vs1 上の「CIFS\_SERVER\sueo」ユーザに「`SeTcbPrivilege」権限と「`seeOwnershipPrivilege」権限を追加します。

```
cluster1::> vserver cifs users-and-groups privilege add-privilege -vserver
vs1 -user-or-group-name CIFS_SERVER\sue -privileges
SeTcbPrivilege,SeTakeOwnershipPrivilege

cluster1::> vserver cifs users-and-groups privilege show -vserver vs1
Vserver      User or Group Name      Privileges
-----
vs1          CIFS_SERVER\sue        SeTcbPrivilege
                                   SeTakeOwnershipPrivilege
```

## ローカルまたはドメインのユーザまたはグループから権限を削除します

ローカルまたはドメインのユーザやグループのユーザ権限を管理するには、権限を削除します。これにより、ユーザとグループに付与される最大権限をカスタマイズして、セキュリティを強化できます。

作業を開始する前に

権限を削除する対象となるローカルまたはドメインのユーザまたはグループがすでに存在している必要があります。

このタスクについて

ローカルまたはドメインのユーザやグループの権限を削除するときは、次の点に注意してください。

- 1 つ以上の権限を削除できます。
- ドメインのユーザまたはグループの権限を削除する場合、ONTAP でそれらのユーザやグループを検証するために、ドメインコントローラに接続することがあります。

ONTAP からドメインコントローラに接続できない場合、コマンドが失敗することがあります。

### 手順

1. ローカルまたはドメインのユーザまたはグループから1つ以上の権限を削除します。 `vserver cifs users-and-groups privilege remove-privilege -vserver _vserver_name_ -user-or-group-name _name_ -privileges _privilege_[,...]`
2. 必要な権限がオブジェクトから削除されていることを確認します。 `vserver cifs users-and-groups privilege show -vserver vserver_name -user-or-group-name name`

### 例

次の例は、Storage Virtual Machine（SVM、旧 Vserver）vs1 上のユーザ「CIFS\_SERVER\sueo」から「`s eTcbPrivilege」および「`s eTakeOwnershipPrivilege」権限を削除します。

```
cluster1::> vserver cifs users-and-groups privilege show -vserver vs1
Vserver    User or Group Name      Privileges
-----
vs1        CIFS_SERVER\sue        SeTcbPrivilege
                               SeTakeOwnershipPrivilege

cluster1::> vserver cifs users-and-groups privilege remove-privilege
-vserver vs1 -user-or-group-name CIFS_SERVER\sue -privileges
SeTcbPrivilege,SeTakeOwnershipPrivilege

cluster1::> vserver cifs users-and-groups privilege show -vserver vs1
Vserver    User or Group Name      Privileges
-----
vs1        CIFS_SERVER\sue        -
```

ローカルまたはドメインのユーザとグループの権限をリセットします

ローカルまたはドメインのユーザやグループの権限をリセットできます。これは、ローカルまたはドメインのユーザやグループの権限に対して行った変更が不要になった場合や必要がなくなった場合に役立ちます。

このタスクについて

ローカルまたはドメインのユーザまたはグループの権限をリセットすると、そのオブジェクトの権限のエントリがすべて削除されます。

手順

1. ローカルまたはドメインのユーザまたはグループの権限をリセットします。 `vserver cifs users-and-groups privilege reset-privilege -vserver vserver_name -user-or-group-name name`
2. オブジェクトの権限がリセットされたことを確認します。 `vserver cifs users-and-groups privilege show -vserver vserver_name -user-or-group-name name`

例

次の例は、Storage Virtual Machine（SVM、旧 Vserver）vs1 上のユーザ「CIFS\_SERVER\sue」の権限をリセットしています。デフォルトでは、標準ユーザのアカウントには権限は関連付けられません。

```
cluster1::> vserver cifs users-and-groups privilege show
Vserver      User or Group Name      Privileges
-----
vs1          CIFS_SERVER\sue        SeTcbPrivilege
                                   SeTakeOwnershipPrivilege

cluster1::> vserver cifs users-and-groups privilege reset-privilege
-vserver vs1 -user-or-group-name CIFS_SERVER\sue

cluster1::> vserver cifs users-and-groups privilege show
This table is currently empty.
```

次の例では 'グループ ""BUILTIN\Administrators ""' の特権をリセットし '実質的に特権エントリを削除します

```
cluster1::> vserver cifs users-and-groups privilege show
Vserver      User or Group Name      Privileges
-----
vs1          BUILTIN\Administrators  SeRestorePrivilege
                                   SeSecurityPrivilege
                                   SeTakeOwnershipPrivilege

cluster1::> vserver cifs users-and-groups privilege reset-privilege
-vserver vs1 -user-or-group-name BUILTIN\Administrators

cluster1::> vserver cifs users-and-groups privilege show
This table is currently empty.
```

## 権限の上書きに関する情報を表示します

ドメインまたはローカルのユーザアカウントまたはグループに割り当てられているカスタムの権限に関する情報を表示できます。この情報は、必要なユーザ権限が適用されているかどうかを確認するのに役立ちます。

### ステップ

1. 次のいずれかを実行します。

表示する情報	入力するコマンド
Storage Virtual Machine （SVM）上のすべてのドメインおよびローカルのユーザとグループのカスタム権限	<code>vserver cifs users-and-groups privilege show -vserver vserver_name</code>
SVM 上の特定のドメインまたはローカルのユーザとグループのカスタム権限	<code>vserver cifs users-and-groups privilege show -vserver vserver_name -user-or-group-name name</code>

このコマンドを実行するときに選択できるオプションのパラメータがほかにもあります。詳細については、のマニュアルページを参照してください。

### 例

次のコマンドを実行すると、SVM vs1 のローカルまたはドメインのユーザとグループに明示的に関連付けられているすべての権限が表示されます。

```
cluster1::> vserver cifs users-and-groups privilege show -vserver vs1
```

Vserver	User or Group Name	Privileges
-----	-----	-----
vs1	BUILTIN\Administrators	SeTakeOwnershipPrivilege SeRestorePrivilege
vs1	CIFS_SERVER\sue	SeTcbPrivilege SeTakeOwnershipPrivilege

## 著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。